

ウチノココ ヨロコブ プロジェクト

4コマ
漫画! 制作日記



“子どものためのものづくり”
何がでてくるかはお楽しみ
ゆっくりあたたかく見守ってね
現在進行形の手づくりプロジェクト

第1章

全ての始まり編



ウチノコヨロコブプロジェクトが
スタートしたのは
2011年4月のことでした。
勢いと熱い思いで始まったこのプロジェクト。

プロジェクトでどんな事をしていくのか、
メンバー自身も手探りな状態の中、
5月16日からアメンバーブログでの
プロジェクト日記の公開を始めたのです。
そしてなんとも無謀にも4コマ漫画での日記作成。
いつまで続くか!?と危ぶまれつつも何とか今も続き、
半年で50回となりました！
(2011年10月現在)

第1章はプロジェクトが始まることになった経緯の
『全ての始まり編』です。

① 全ての始まり



② 夢語り



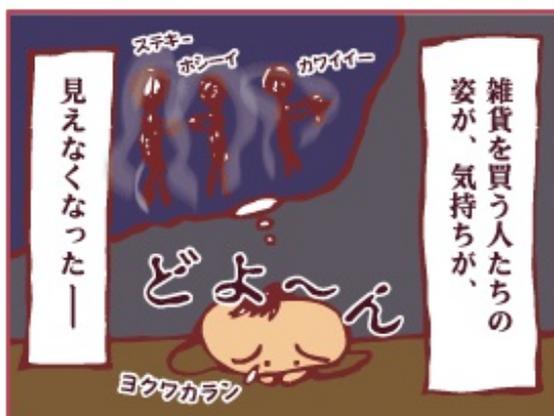
③ 夢は続くよどこまでも



④ 世の流行を探れ!



⑤ 大切な物が見えない



⑥ 見えない理由 わけ



⑦ そして…ついに…



ウチノヨヨロコブ プロジェクト始動!!

そうなのです
雑貨作り♪雑貨クリエイター♪
そんな響きに憧れてみたものの
現実の子育て真っ最中

1日雑貨屋さん巡りしたところで
埋められない
現実との差

作れないことは、ない。
とは思う

でも

きっと何かすごく無理して
流行に合わせたモノが
出来上がりそう

自分たちが
作りたいものって
それなのかな

一生懸命時間をかけて
本当に作りたいものなのかな

『よくわからない気持ち』を
突き詰めて考えていたら

『よくわかる』ものに行き着いた

それが

『うちの子たちが喜ぶもの』
でした

オシャレ雑貨、ではなく
小学生低学年や小さな子どもたちが喜ぶものを。

その結論に辿り着いたとき
気持ちがストーンと落ちついた感じがして
ああこれなら無理なくやっていける、と思ったのです

胸の中のザワザワしたものが
ワクワクした気持ちにすっかり変わっていました。

第2章

ウチノコヨロコブプロジェクトとは!?!編

ウチノコヨロコブプロジェクトって
いったい何をしているの?
そもそもウチノコヨロコブプロジェクトって何?

まさにプロジェクトをどんな風に進めていこうか
試行錯誤をしていた当時のプロジェクト制作日記です。

形が決まっていてスタートしたプロジェクトではないので
毎日毎日考えて試してみても
問題にぶつかって立ち止まり
また動き出して
そして何となく形になってきたかな、というものを
4コマの形で書き出しています。

第2章は
『ウチノコヨロコブプロジェクトとは!?!編』です。

⑧ ウチノコとは!?



⑨ たかがロゴされどロゴ



⑩ 体調不良?



『ウチノコヨロコブ』という言葉を書いたとき、
自分の子どもだけじゃなく、姪っ子、甥っ子、
子どもの学校の友だち、仲の良い子どもたち、
近所の子...

たくさんの子どもの笑顔が
頭の中に思い浮かびました。

プロジェクト、という名前をつけましたが
何も大きな企業のプロジェクトではありません。

『こどもたちがよろこぶ』をキーワードに
ものづくりしていく
私たちの手作りプロジェクトです。

何をするのか
何を作っていくのか

あたたかく見守っていただけたら...と
思っています。

どうぞよろしくお願いいたします！

第3章

楽しき日曜日編

プロジェクトの骨格が決まり
それでは実際に何をしようか
何を作ろうか

いろいろなアイデアを出しつつ
最初はとにかくテスト！テスト！テスト！
試作品作りや材質テストを繰り返す日々でした

第3章は
『楽しき日曜日編』です。

⑫ 賑やかな日曜日



⑬ 子ども喜ぶ



2コマ目の相づちは何だったの?!

⑭ 気になるところ



画材や材料のテスト用なので
楽しくお絵描きした後は
細部をチェック！

でも子どもたちからしてみれば
自分たちが描いたものを
マジマジと見ているのだから
評価が気になるところ

自分が作ったもの
褒めてもらいたい

その気持ちは
大人も子どもも一緒だものね

たくさんたくさん褒めてあげよう

みんなじょうずにかけました！
おてつだいありがとね！

子どもたちが描いたTシャツは
そのまま夏のパジャマに。。

寝相の悪さにも耐え
たっぷりの寝汗にも負けず
繰り返しの洗濯にも耐えられるのか!?

画材の耐久テストスタートです～
(2011.6/2)

第4章

自己紹介編

制作日記を更新しながら
ある日ふと気づきました。

自分たちがどこに住んで一体どんな人たちなのか
まったくどこにも書いていなかった！

というわけで

今さらながらの
自己紹介

第4章は
『自己紹介編』です。

⑮ どこで暮らそうと



⑰ PaoPaoの由来



①6 期待と落胆



だからこそ
子どものものを作りたい、とも思うのです

⑱ ものづくりの渦



①9 決定的要因は

夫の仕事の都合で
北京に暮らしていました

3年前子どもを連れて
北京に帰ってきました

Mameさん(北京出身)
日本滞在経験15年



～北京の保育園にて～

偶然 Paopaopa の子どもが
通う保育園に転入

日本語!?

日本の方ですか?

コシニチワー

コシニチワー



子ども同士が仲良し
小学校でも同じクラス

家が近所

双子のママ同士

日本語で話せる

仲良くなる要素満載の
Mameさんでしたが



極めつけは

時間があると
何か作ってるんです～

ものづくり好き!



この4コマを描きながら
そういえば
フリーになる時に
「これからは子ども向けのものをやりたい！」と
しきりに言っていたことを思い出しました。

子どもに呼びかける愛称の【宝宝】から
名前をイメージしたのもそのためでした。

フリーでやってきて5年。

有り難いことに
仕事は(最近の仕事無くなるびっくり事件はありましたが)
比較的順調にやってこれていました
が、
「子ども向け」からは遠く
そしてそんな想いからもすっかり遠くなっていました。

勢いで始まったプロジェクトですが
思い返せば
再びスタート地点に舞い戻って来たのかもしれませんが。

もしくは

あの頃蒔いた種が
5年経って
急に芽を出した感じ、でしょうか。

引き続き、更新予定です。

アメブロの制作日記

現在は『クリスマス編』『憧れの絵本編』を更新中。(2011年11月17日現在)

最新日記はこちらをどうぞ！

[☆☆☆アメーバーブログ ウチノコヨロコブPJ制作日記【4コマ】☆☆☆](#)

<http://ameblo.jp/utiyoro-pj/>

*****パプー版*****

ウチノコヨロコブPJ制作日記【4コマ】

<http://p.booklog.jp/book/36739>

著者：ウチノコヨロコブPJ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/utiyoropj/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/36739>

ブックログのパプー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/36739>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.